

提言のポイント

ITSの進展

- (1) カーナビは約 1500 万台となり、5台に 1 台装備
- (2) VICSは 900 万台を超え、カーナビの標準機能
- (3) ETCは 300 万台を超え、利用率は 20%
- (4) ASVの商品化が進み、世界最先端

セカンドステージに入った ITS

- | | |
|---------------------------|-----------|
| (1) カーナビによる高齢者運転支援 | |
| (2) ETCにより料金所渋滞が半減(首都高川口) | ETC標準装備 |
| (3) スマートICの具体化 | 高速道路 IC倍増 |
| (4) 先端、流行から社会的課題を解決する存在へ | |

国家戦略として一層の加速

- (1) 官民あげての取り組み
- (2) 本年 10月開催の ITS名古屋会議で世界に発信

2007 年に本格的な ITS社会を実現

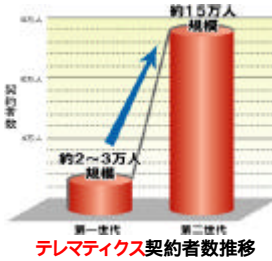
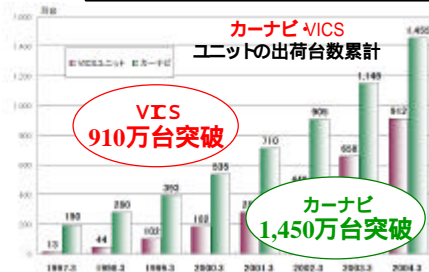
- (1) 2007 年に、多様なサービスを一つの ITS車載器で利用できる車内環境を実現。
- (2) ITS車載器を活用して、以下のサービスを開始。
 - あらゆるゲートのスムーズな通過
駐車場をはじめ ETC以外でのキャッシュレス決済等によるスムーズな通過を実現
 - 場所やニーズに応じた地域ガイド
周辺の道路情報や地域・観光情報を集約配信し、利便性向上・地域活性化
 - タイムリーな走行支援情報の提供
走行中に事故多発地点、詳細な工事規制、渋滞末尾等を即時的に提供し、安全・安心を向上
- (3) 歩行者の携帯端末や家庭の PCなどとの連携も進め、車内のみならず常時シームレスな情報環境の構築を推進。
あわせて、路車協調による安全確保のための警告や車両制御についても研究・開発を進め、早期にサービスを開始。
- (4) 目標達成のため、関係者が適切な役割分担のもとに、
 - ・05 年 官民共同研究、規格・仕様の策定
 - ・06 年 官民により、インフラ整備・ITS車載器製造を推進
 - ・07 年 サービス開始

ITS の進展

【ITSの現状】



- ITS は急速に社会に普及
- IT も社会に浸透し生活の一部となっている

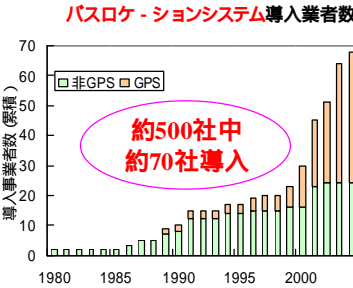
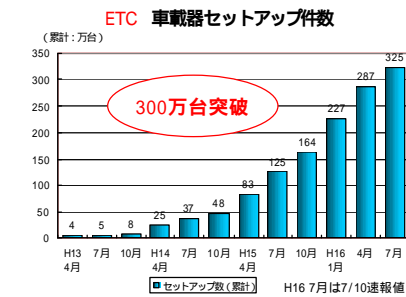


ITの浸透

携帯電話 8000万台

ECカード 1400万枚

ウェブ情報 1億2千万Hit

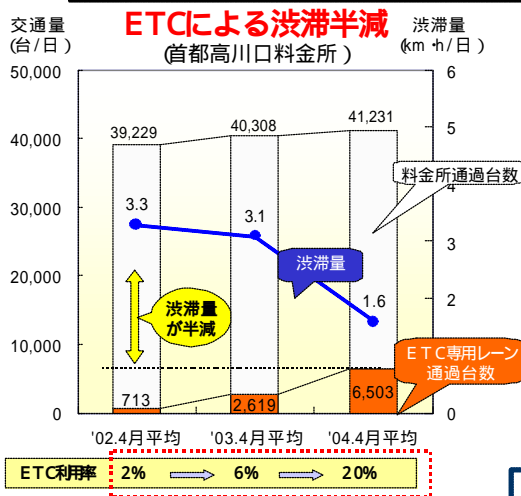


セカンドステージに入った ITS

【現れ始めた ITSの効果】



- ETCにより交通量の増加にも関わらず、渋滞半減（首都高川口料金所）
- スマートICで、ICの建設コスト・管理コストの削減が可能
- 全国のIC倍増による地域社会への便益は、3兆円規模と試算



スマートICでIC倍増

・IC数	705箇所
・平均IC間隔	約10km
▶ 欧米 (4~5km)の倍	
・ICのある市町村数	553
▶ 通過市町村数の約6割	



平成16年度社会実験 35ヶ所で準備中

先端、流行から社会的課題の解決へ向けて

2007年に本格的なITS社会を実現

【ITS車載器】



- 一つのITS車載器により、様々なサービスを開始
- 歩行者の携帯端末や家庭のPCなどと連携し、シームレスな情報環境構築



サービス毎に車載器が必要で、利用者の利便性が損なわれた場合



多様なサービスを一つのITS車載機で利用できる車内環境

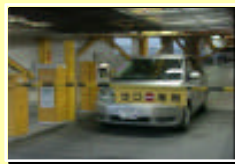
【様々なサービスシーン】



- ITS車載機を活用して新たなサービスを開始
- 多様なサービスを一つのITS車載器で利用できる車内環境を実現。

【あらゆるゲートのスムーズな通過】

・駐車場をはじめ、ETC以外でのキャッシュレス決済等によるスムーズな通過を実現



【場所やニーズに応じた地域ガイド】

・周辺の道路情報や地域・観光情報を集約配信し、利便性向上・地域活性化



【タイムリーな走行支援情報の提供】

・走行中に事故多発地点、詳細な工事規制、渋滞末尾等を即時的に提供し、安全・安心を向上



【注意】
右折時の事故が多発しています

